

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月16日



素晴らしい人間環境づくり
ニチハ株式会社

連結業績サマリー



(百万円、%)

	2022/3期	2023/3期 上期		前年同期比		予想比	
	上期実績	予想	実績	金額	%	金額	%
売上高	62,683	68,000	67,209	+4,526	+7.2	△790	△1.2
営業利益 (営業利益率)	6,616 (10.6%)	5,200 (7.6%)	5,465 (8.1%)	△1,151	△17.4	+265	+5.1
経常利益	6,861	5,300	6,767	△94	△1.4	+1,467	+27.7
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,235	3,700	4,791	△443	△8.5	+1,091	+29.5

2023/3期	前期比	
通期予想	金額	%
141,000	+12,400	+9.6
13,500 (9.6%)	+923	+7.3
13,700	+99	+0.7
9,700	△446	△4.4

(注1) 本資料では百万円未満の金額を切り捨てにより表示しております

(注2) 2023/3期予想：2022年5月11日発表 期初予想

2023年3月期 第2四半期決算



2023年3月期 市場動向(国内)



国内市場四半期別推移

()内は前年同期比増減率 %

年度	上期			下期			通期 計
	第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	

住宅市場

新設住宅着工戸数 千戸	2021	221	225	446	220	200	420	866
		(+8.1)	(+7.2)	(+7.6)	(+6.1)	(+4.9)	(+5.6)	(+6.6)
	2022	218	225	443	-	-	-	-
		(△1.3)	(△0.0)	(△0.7)				
うち一戸建 千戸	2021	109	114	223	114	93	207	430
		(+10.2)	(+15.4)	(+12.8)	(+8.8)	(△1.3)	(+4.0)	(+8.4)
	2022	104	105	209	-	-	-	-
		(△4.9)	(△7.2)	(△6.1)				

窯業系外装材業界

NYG サイディング販売数量 千坪 [日本窯業外装材協会] (JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)	2021	7,075	7,167	14,242	7,831	7,260	15,091	29,333
		(△1.3)	(+4.1)	(+1.3)	(+3.0)	(+3.6)	(+3.2)	(+2.3)
	2022	7,243	7,327	14,570	-	-	-	-
		(+2.4)	(+2.2)	(+2.3)				

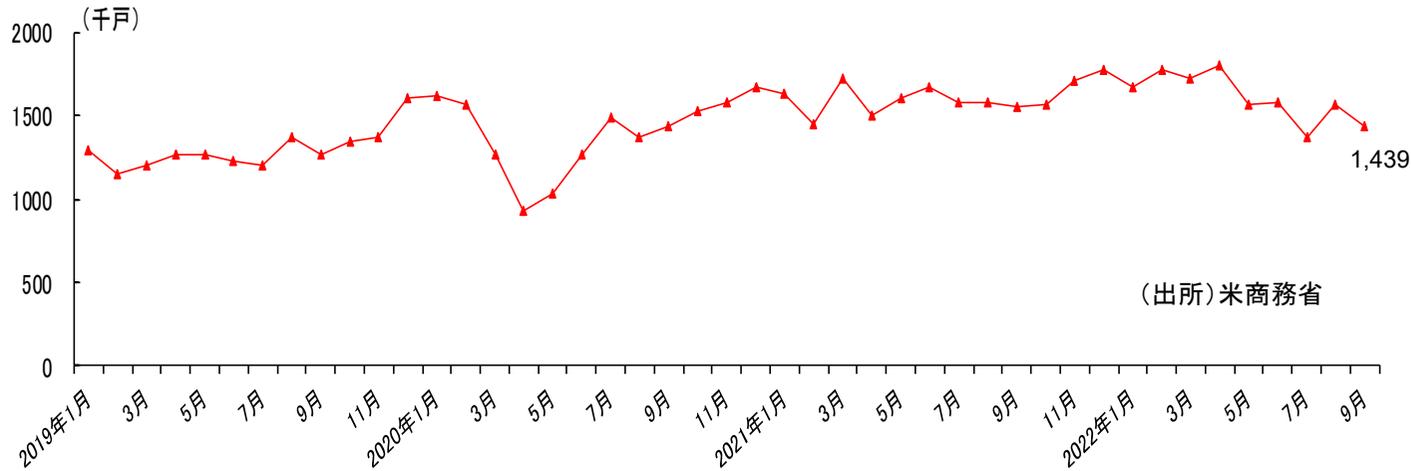
当社

窯業系サイディング販売数量 千坪 (JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)	2021	3,880	3,913	7,793	4,245	3,903	8,148	15,941
		(+1.8)	(+4.3)	(+3.1)	(+1.8)	(△0.0)	(+0.9)	(+1.9)
	2022	3,890	3,975	7,865	-	-	-	-
		(+0.3)	(+1.6)	(+0.9)				
NYGシェア %	2021	54.8	54.6	54.7	54.2	53.8	54.0	54.3
		(+1.6p)	(+0.1p)	(+0.9p)	(△0.6p)	(△1.9p)	(△1.3p)	(△0.2p)
	2022	53.7	54.3	54.0	-	-	-	-
		(△1.1p)	(△0.3p)	(△0.7p)				

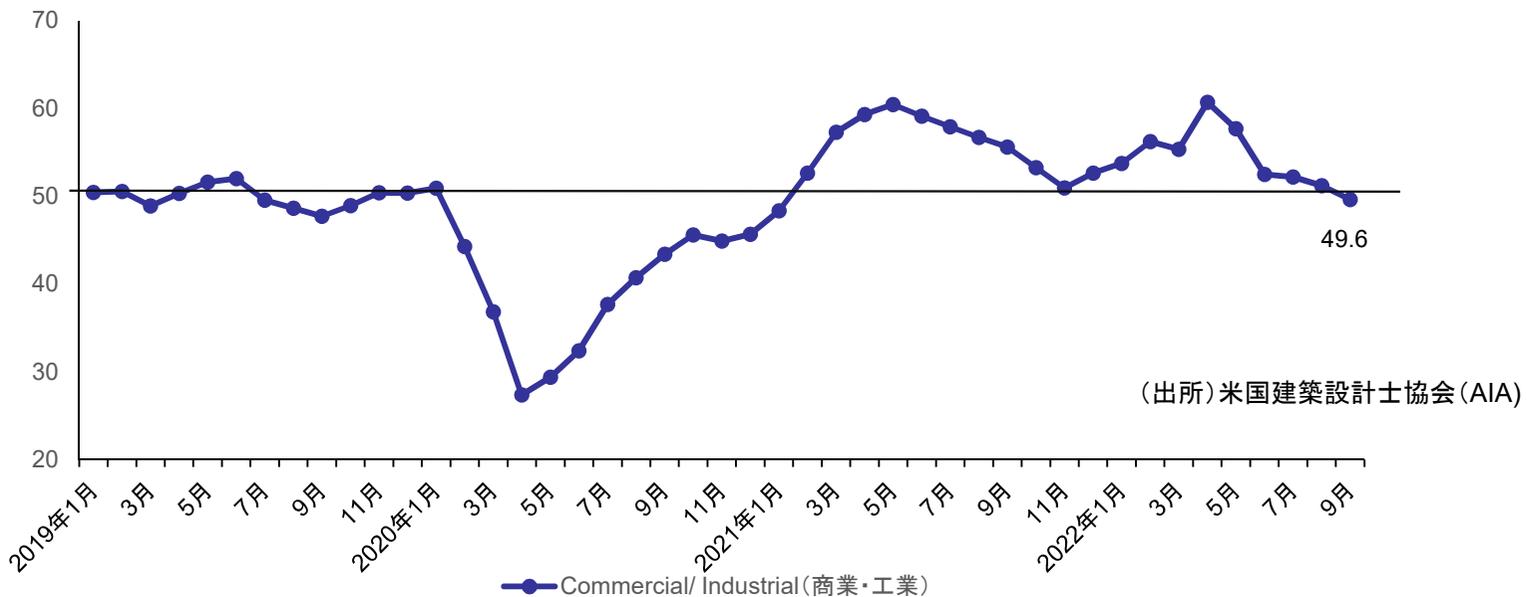
2023年3月期 市場動向(米国)



(1)住宅着工件数



(2) Architecture Billings Index (ABI)



注) ABIは米国建築士協会(AIA)が商業用ビル等の設計景況感を調査したデータです。商業・工業用建物等の建設を約9~12ヶ月先行する指標で、50を超えれば増加傾向、50を下回れば減少傾向となります。ここでは商業・工業のデータを掲載しています。

2023年3月期第2四半期 連結業績



(百万円、%)

	2022/3期 第2四半期累計		2023/3期 第2四半期累計		前年同期比	
	金額	売上比／構成比	金額	売上比／構成比	金額	%
売上高	62,683	100.0	67,209	100.0	+4,526	+7.2
外装材事業	58,079	92.7	62,378	92.8	+4,298	+7.4
国内	47,835	76.3	49,726	74.0	+1,890	+4.0
窯業系外装材	42,778	68.2	44,029	65.5	+1,251	+2.9
金属系外装材	5,057	8.1	5,696	8.5	+639	+12.6
海外	10,244	16.4	12,652	18.8	+2,408	+23.5
米国	8,566	13.7	11,120	16.5	+2,553	+29.8
(百万US\$)	(79.5)	—	(90.2)	—	(+10.8)	(+13.6)
中国他	1,677	2.7	1,531	2.3	△145	△8.7
その他	4,603	7.3	4,831	7.2	+228	+5.0
売上総利益	25,919	41.4	25,914	38.6	△5	△0.0
営業利益	6,616	10.6	5,465	8.1	△1,151	△17.4
(為替差損益)	(29)	—	(1,067)	—	(+1,038)	—
経常利益	6,861	10.9	6,767	10.1	△94	△1.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,235	8.4	4,791	7.1	△443	△8.5

◆海外子会社 円換算レート

	期中平均(AR)	期中平均(AR)	差異
1US\$	107.82	123.15	+15.33
1元	16.67	18.97	+2.30

◆期末評価レート

	'21/3	'21/9	'22/3	'22/9
1US\$	110.71	111.95	122.41	144.81

(注) その他の内訳は、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業です

2023年3月期第2四半期 国別業績



(百万円、%)

	社数	売上高		営業利益			
		2022/3期 第2四半期累計	2023/3期 第2四半期累計	2022/3期 第2四半期累計	2023/3期 第2四半期累計	増減額	%
国内	11	75,012	78,197	4,976	3,456	△1,519	△30.5
米国 (百万us\$)	1	8,566 (79.5)	11,120 (90.2)	1,265 (11.7)	1,991 (16.1)	+726 (+4.4)	+57.4 (+37.8)
中国 (百万元)	2	2,092 (125.5)	1,920 (101.2)	191 (11.5)	△50 (△2.6)	△242 (△14.1)	— —
調整額		△22,988	△24,028	183	67	△115	—
連結	14	62,683	67,209	6,616	5,465	△1,151	△17.4

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります

2023年3月期第2四半期 国内事業営業利益の前年同期比増減要因



国内事業営業利益 (億円)

2022/3期 第2四半期累計	2023/3期 第2四半期累計	増減
49.8	34.6	△15.2

↓ (億円)

		損益影響額
	国内増収・価格改定等	+4.7
	在庫増減(製造固定費)	+2.9
	資材・エネルギーコストアップ*	△28.3
	物流費コストアップ	△0.1
	固定費減少	+5.6
国内事業 計		△15.2

設備投資・減価償却費



(億円)

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	
						上期実績	通期計画
設備投資	31.9	38.6	107.6	118.8	98.6	47.0	90.2
減価償却費	54.6	48.2	46.5	47.7	48.1	15.8	36.7

(注1) 設備投資…資産計上基準
減価償却費…長期前払費用を除く

(注2) 米国新工場の償却開始は来期からと見込んでいるため、2023/3期の減価償却費には織り込んでおりません。但し、稼働状況等次第で当期中に前倒しで計上する可能性があります。

名古屋工場増産 16.7
米国新工場 15.1
経常投資他 15.2

償却方法変更
(定率法→定額法)
従来比6億円減少

名古屋工場増産 37.7
米国新工場 20.3
経常投資他 32.2

2023年3月期 業績予想&配当状況



NOHASシリーズ PREMIUM

2023年3月期 連結業績予想



(百万円、%)

	実績	上期				通期			
		前期比		予想比		予想	前期比		
		金額	%	金額	%		金額	%	
売上高	67,209	+4,526	+7.2	△790	△1.2	141,000	+12,400	+9.6	
外装材事業	62,378	+4,298	+7.4	△621	△1.0	131,000	+11,843	+9.9	
国内	49,726	+1,890	+4.0	△1,773	△3.4	105,300	+6,951	+7.1	
窯業系外装材	44,029	+1,251	+2.9	△670	△1.5	91,700	+3,691	+4.2	
金属系外装材	5,696	+639	+12.6	△1,103	△16.2	13,600	+3,259	+31.5	
海外	12,652	+2,408	+23.5	+1,152	+10.0	25,700	+4,892	+23.5	
米国 (百万US\$)	11,120 (90.2)	+2,553 (+10.8)	+29.8 (+13.6)	+1,120 (+3.3)	+11.2 (+3.9)	22,600 (196.5)	+4,940 (+35.8)	+28.0 (+22.3)	
中国他	1,531	△145	△8.7	+31	+2.1	3,100	△48	△1.5	
その他	4,831	+228	+5.0	△168	△3.4	10,000	+557	+5.9	
営業利益 (営業利益率)	5,465 (8.1%)	△1,151	△17.4	+265	+5.1	13,500 (9.6%)	+923	+7.3	
経常利益	6,767	△94	△1.4	+1,467	+27.7	13,700	+99	+0.7	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4,791	△443	△8.5	+1,091	+29.5	9,700	△446	△4.4	

◆海外子会社円換算為替相場(上期は実績、通期は前提)

	期中平均(AR)
1US\$	123.15 (前期:107.82)
1元	18.97 (前期:16.67)

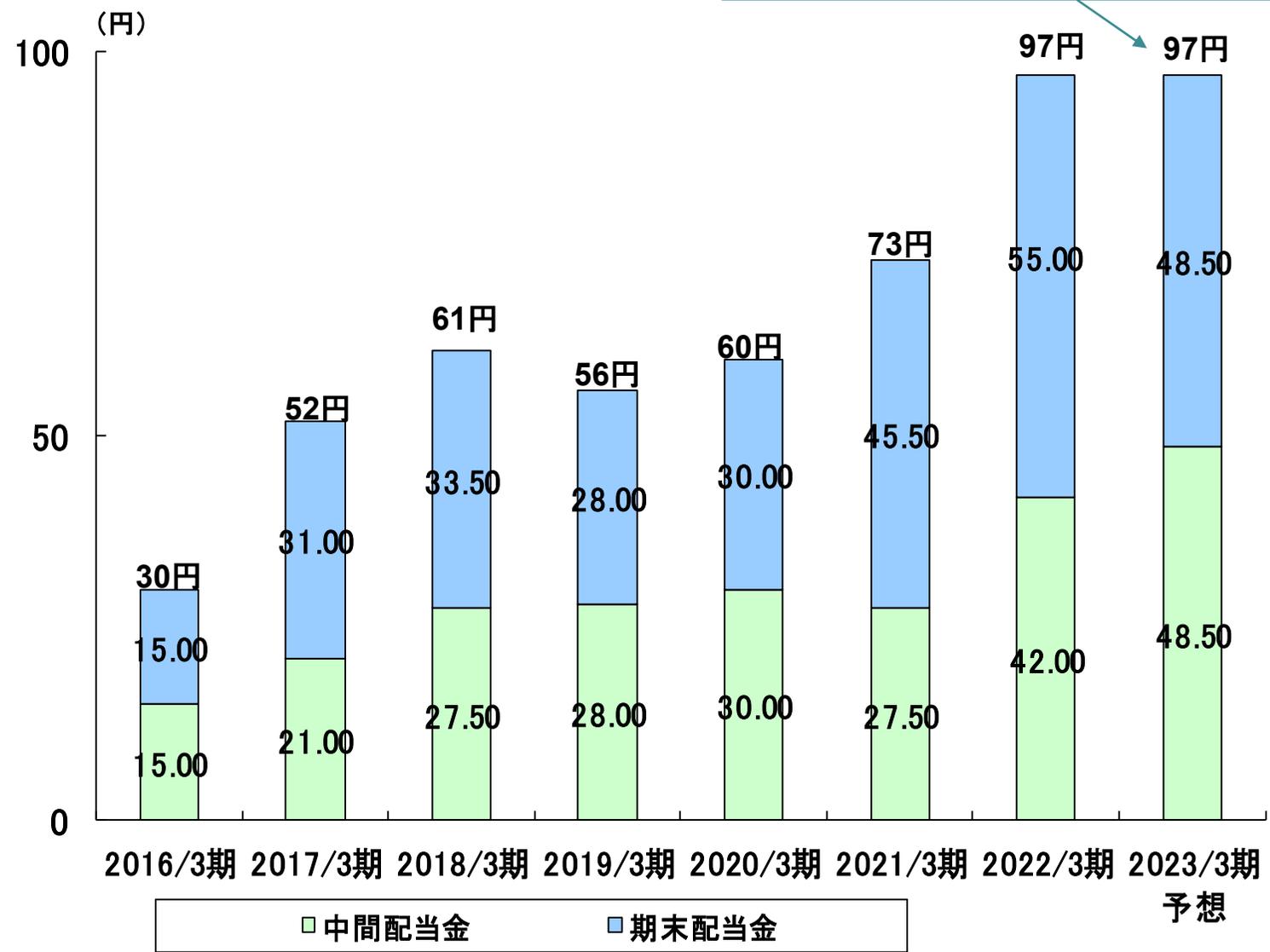
	期中平均(AR)
	115.00 (前期:109.91)
	18.00 (前期:17.04)

(注)その他の内訳は、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業です

配当状況



2023/3期 配当性向 36.6%
年間配当金は2022/3期と同額の97円



中期経営計画

COOL
イルミオ
ILMIO

中期経営計画(重点施策)



中期経営計画(2021年4月～2024年3月)

達成すべき重点課題

生産能力の大幅増強

海外市場開拓

非住宅市場開拓

金属事業拡大

ESGの取り組み強化

中期経営計画(数値目標)



(億円)

	2022/3 [実績]	2023/3 [計画]	2024/3 [中計] ※
売上高	1,285	1,410	1,340
営業利益 (営業利益率) <前年同期比>	125 (9.8%) <+4.5%>	135 (9.6%) <+7.3%>	160 (11.9%) <+18.5%>
ROE (%)	9.5%	8.5%	10%程度

※ 2024/3期の売上高、営業利益は中計発表時(2021年5月)から見直しておりません

中期経営計画(主な進捗状況・トピックス)



●生産能力の大幅増強

中計目標:生産能力を連結ベースで20%アップ(+360万坪)

① 名古屋工場の生産能力増強

- ・ 前期:塗装工程…大幅増強完了
- ・ 当期:原板工程…高級品増強のための大型投資(約52億円、2023年3月末完成予定)

② 米国新工場稼働 (+120万坪)

- ・ 所在地 :米国ジョージア州マーコン市(現マーコン工場敷地内)
- ・ 総投資金額 :約175億円

●海外市場開拓

米国新工場製品の上市

- ・ 2022年10月より販売開始

中期経営計画(主な進捗状況・トピックス)



●非住宅市場開拓

RC造における新工法を長谷エコーレーション様と共同開発

2022年6月2日発表

『引用:日刊木材新聞2022年6月6日号』

複合乾式外装工法「RC×EX工法」が技術審査証明を取得
～耐久性・デザイン性・耐燃えひろがり性に優れ環境にも配慮～



鋼製下地(プラットフォーム)詳細



左:窯業系サイディング施工後・右:鋼製下地組みの様子



『日刊木材新聞ホームページ <http://jfj.co.jp/>』

中期経営計画(主な進捗状況・トピックス)



● 金属事業拡大

- ・ 業界内シェア: 21.6%
… 前年同期比 +2.5ポイント
- ・ 非住宅向けの強化
(低層の倉庫、工場、事務所、店舗等)
- ・ 製品力の向上
- ・ 新商品による市場開拓
人気の柄に光触媒をコーティングした
「メタルガード光」シリーズを発売(2022年10月)

メタルガード光シリーズ
M型スマートフラット光



金属特有の質感が魅力のフラットサイディングに光触媒をコーティングした高性能外壁材。



メタルガード光

中期経営計画(主な進捗状況・トピックス)



●ESGの取り組み強化

脱炭素社会の実現に向けたCO₂排出量削減目標の設定

ニチハグループは、従来より環境負荷低減への取組を企業経営の重要なテーマと位置づけ、グループ全体で環境施策に注力してまいりました。この度、持続可能社会の実現に向けて、ニチハグループの国内主要会社におけるCO₂排出量（Scope1・2）の削減目標を設定しました。今後も様々な手法を試み、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでまいります。

脱炭素社会の実現に向けたCO₂排出削減目標



※国内主要グループ会社：ニチハ株式会社、ニチハマテックス株式会社、高萩ニチハ株式会社、八代ニチハ株式会社、ニチハ富士テック株式会社

□ 商業施設



□ 商業施設



撮影: 株式会社川澄・小林研二写真事務所



ご参考資料

COOL

イルミオ

ILMIO

四半期別業績推移



	2022/3期				2023/3期			
	上期		下期		上期		下期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

・売上高 (百万円)

連結	30,357	32,326	34,514	31,401	32,100	35,108	—	—
ニチハ	25,910	26,820	28,995	26,164	27,009	28,303	—	—
ウチ窯業系サイディング	17,552	18,038	19,209	17,428	17,628	18,437	—	—

・営業利益 (百万円)

国内	2,554	2,422	3,354	1,558	1,828	1,628	—	—
海外	611	845	545	463	720	1,220	—	—
調整額	△ 59	242	△ 49	86	99	△ 32	—	—
連結・営業利益	3,106	3,510	3,851	2,108	2,648	2,817	—	—

・窯業系サイディング販売数量等(業界統計対象外製品を含む、シェアと業界販売数量はJIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)

販売数量 (千坪)	4,452	4,535	4,834	4,437	4,426	4,546	—	—
販売単価 (円/坪)	3,942	3,977	3,973	3,928	3,982	4,055	—	—
業界シェア (%)	54.8%	54.6%	54.2%	53.8%	53.7%	54.3%	—	—

・市場環境(業界販売数量は12mm厚製品を含む)

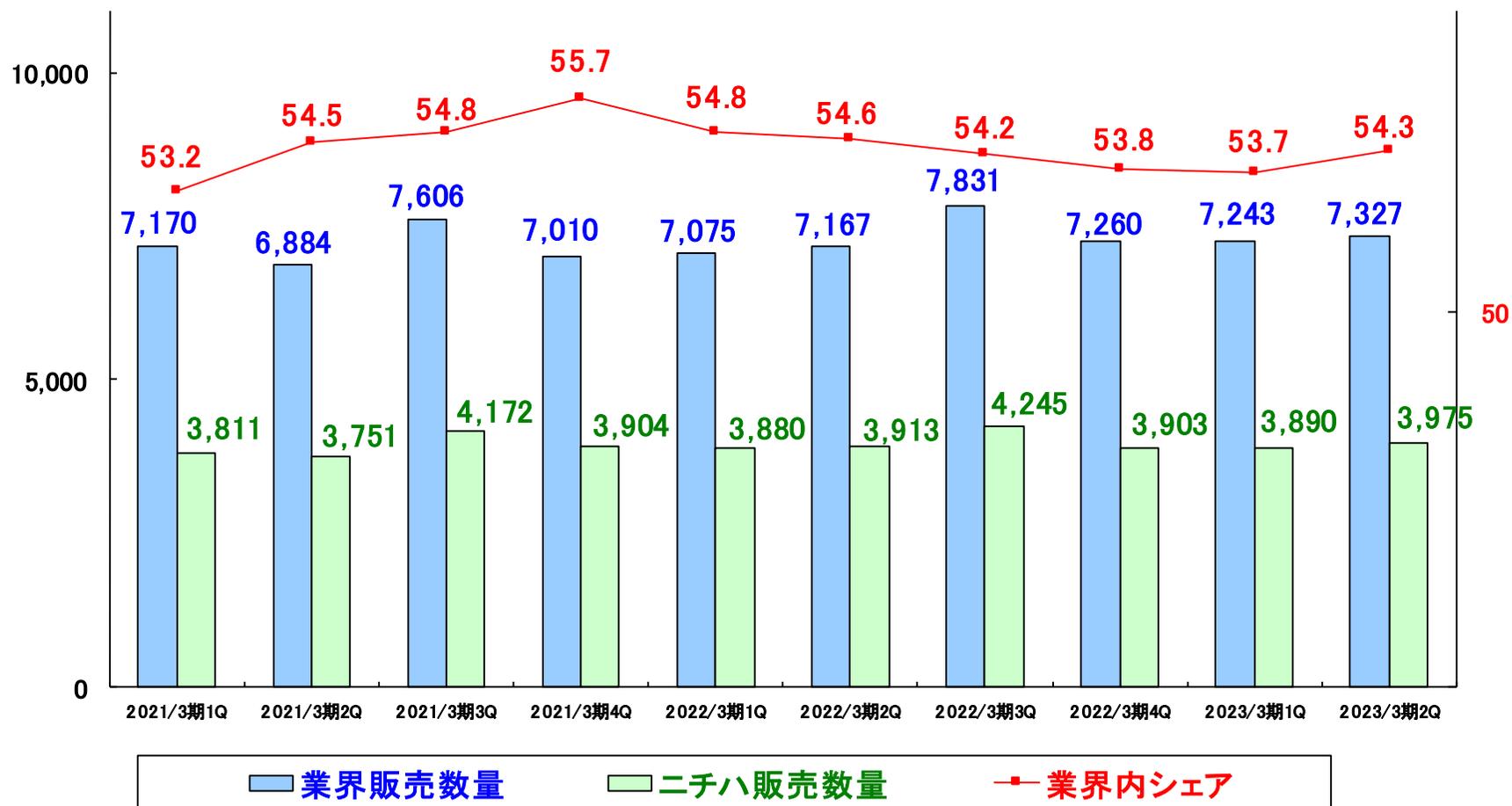
一戸建着工戸数 (千戸)	109	114	114	93	104	105	—	—
前年同期比 (%)	+10.2	+15.4	+8.8	△1.3	△4.9	△7.2	—	—
窯業系サイディング業界販売数量(千坪)	7,075	7,167	7,831	7,260	7,243	7,327	—	—
前年同期比 (%)	△1.3	+4.1	+3.0	+3.6	+2.4	+2.2	—	—

シェア



販売数量(千坪)

業界内シェア(%)



(注) JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準

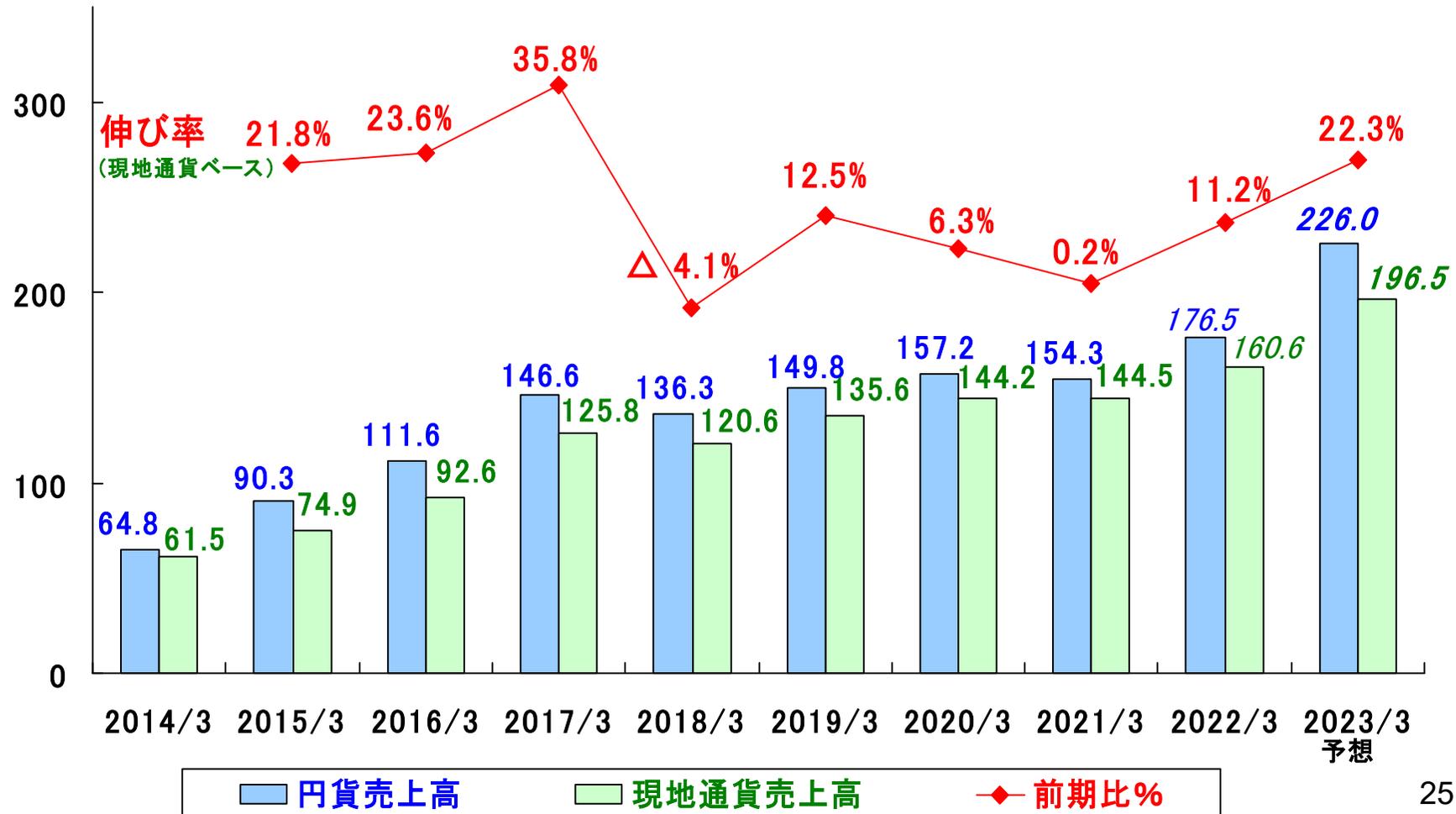
海外・米国



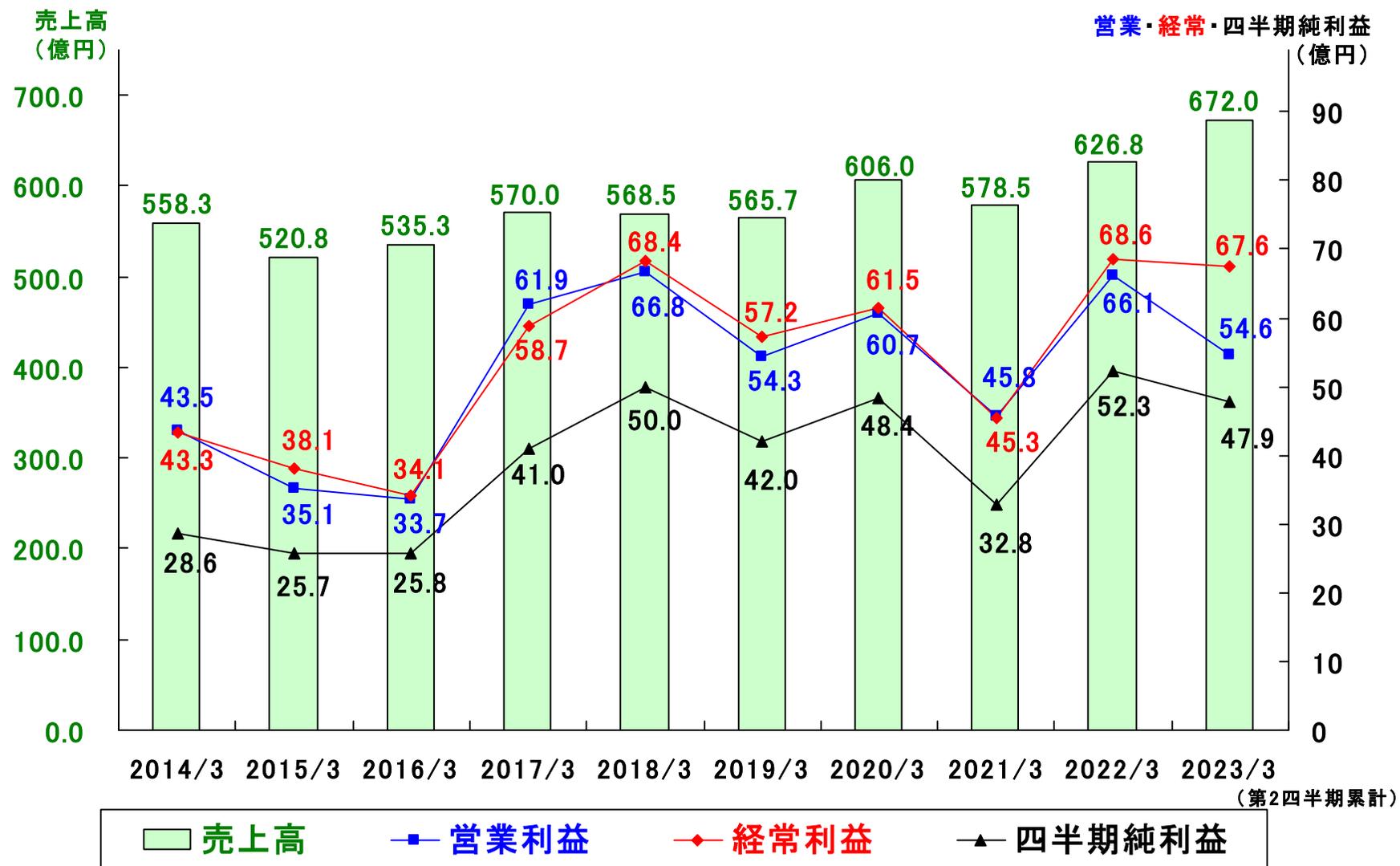
米国市場売上高(米国子会社の売上高)

円貨(億円)

現地通貨(百万US\$)

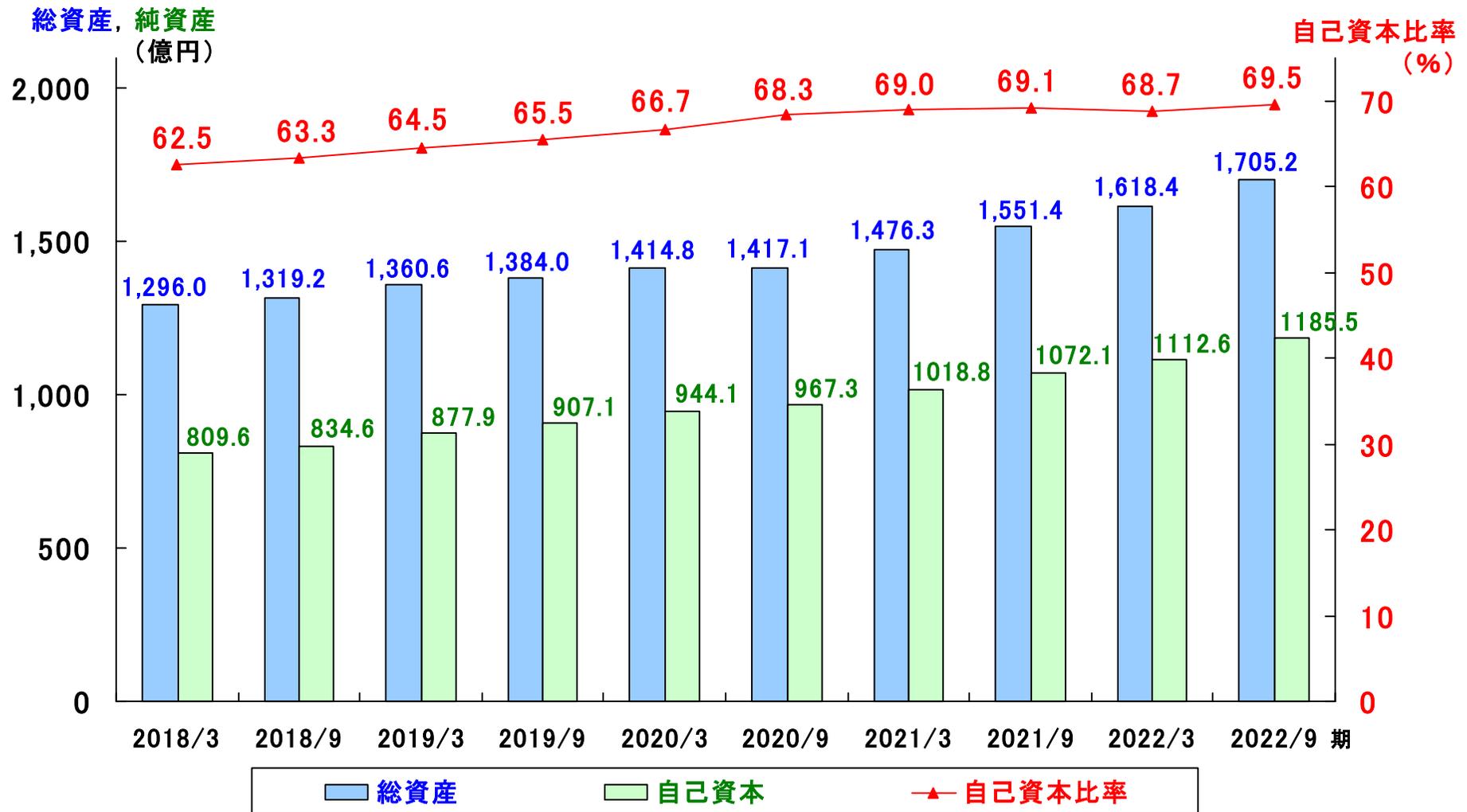


第2四半期累計業績推移



(注) 2022/3期より新収益認識基準を適用し、2021/3期実績も新収益認識基準ベースで調整しております

財政状態推移



(注) 2022/3期より新収益認識基準を適用し、2021/3期実績も新収益認識基準ベースで調整しております

1株当たり連結当期純利益・配当状況

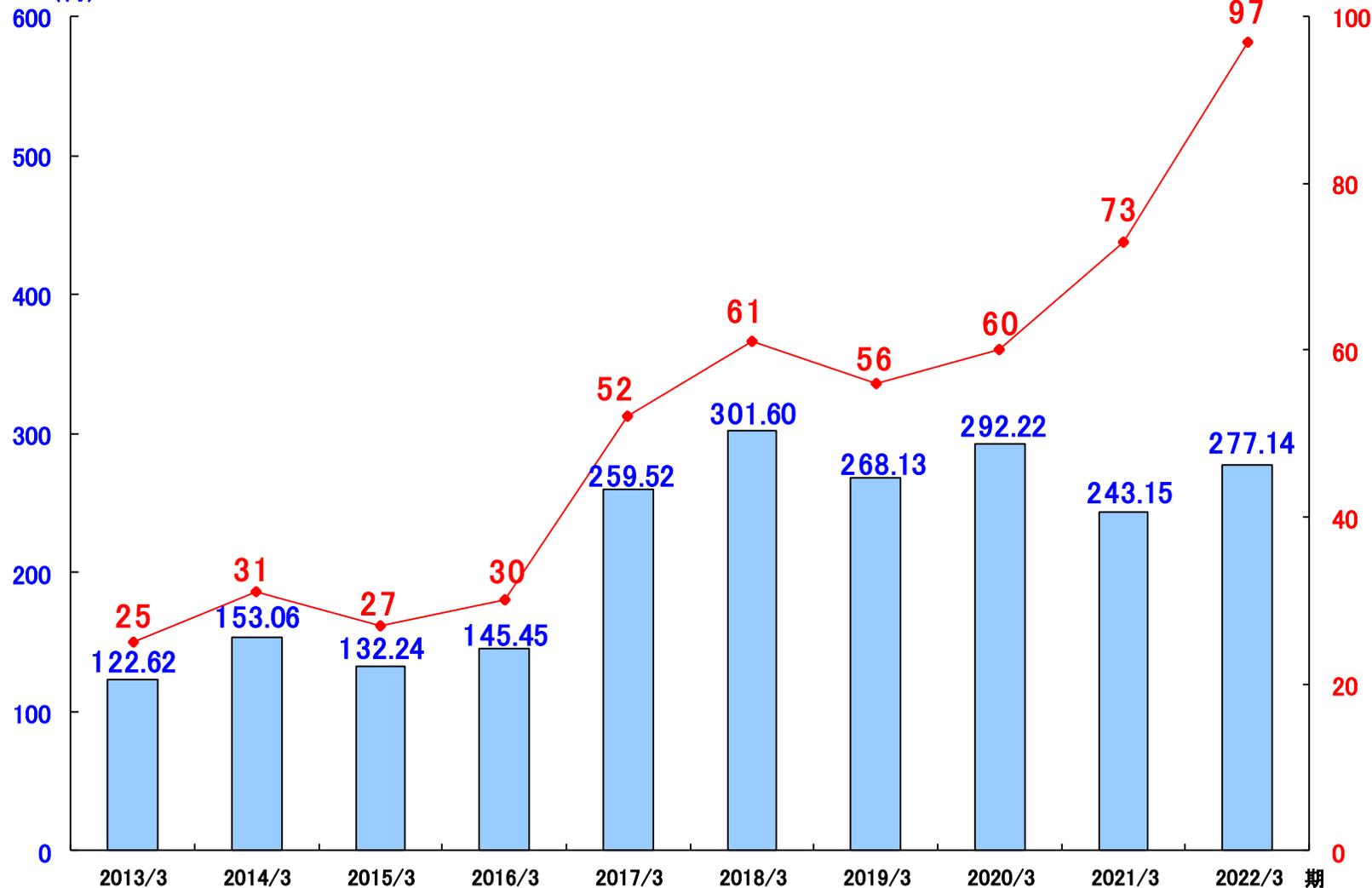


1株当たり連結当期純利益

(円)

1株当たり配当金

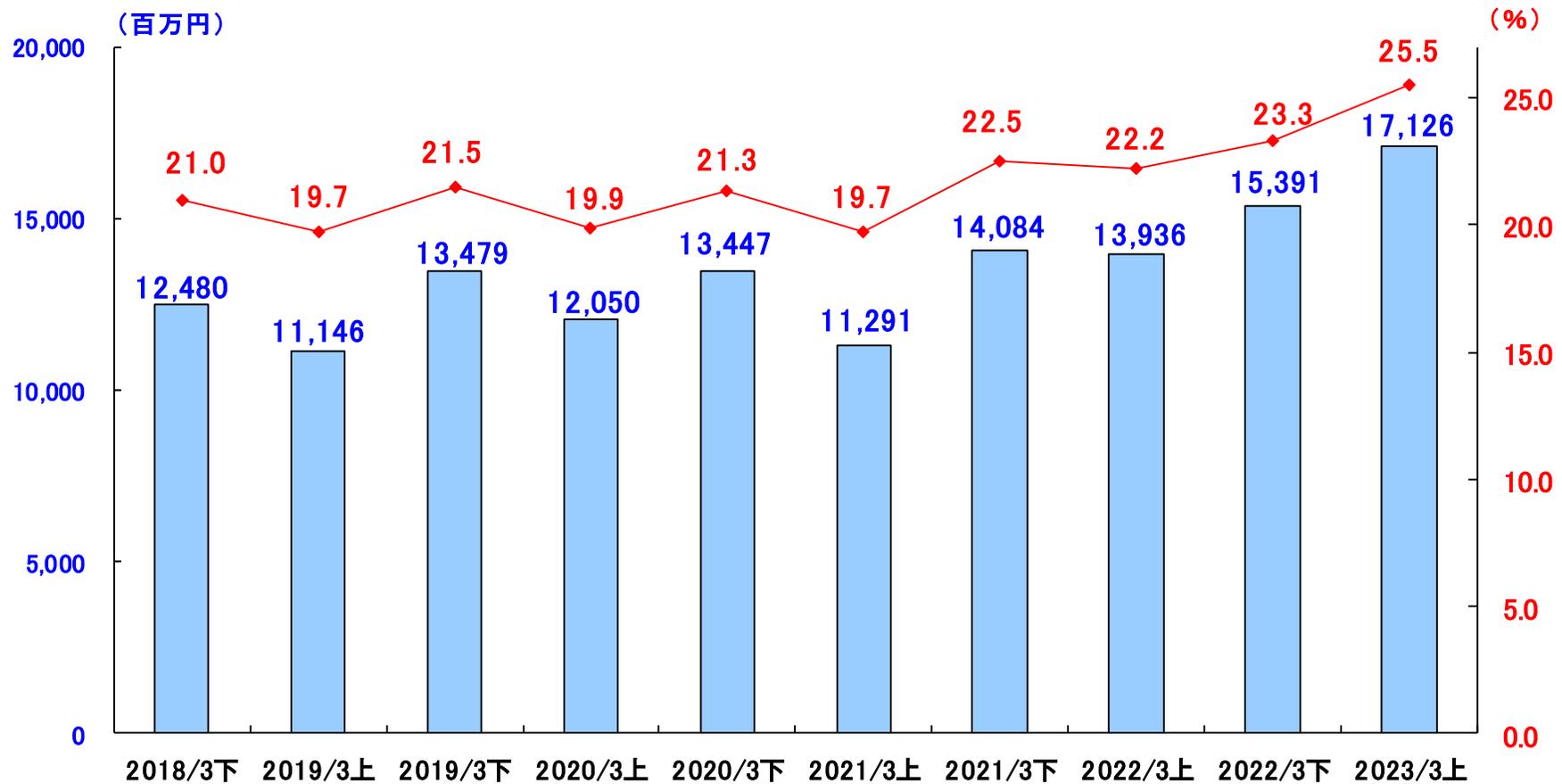
(円)



1株当たり連結当期純利益

1株当たり配当金

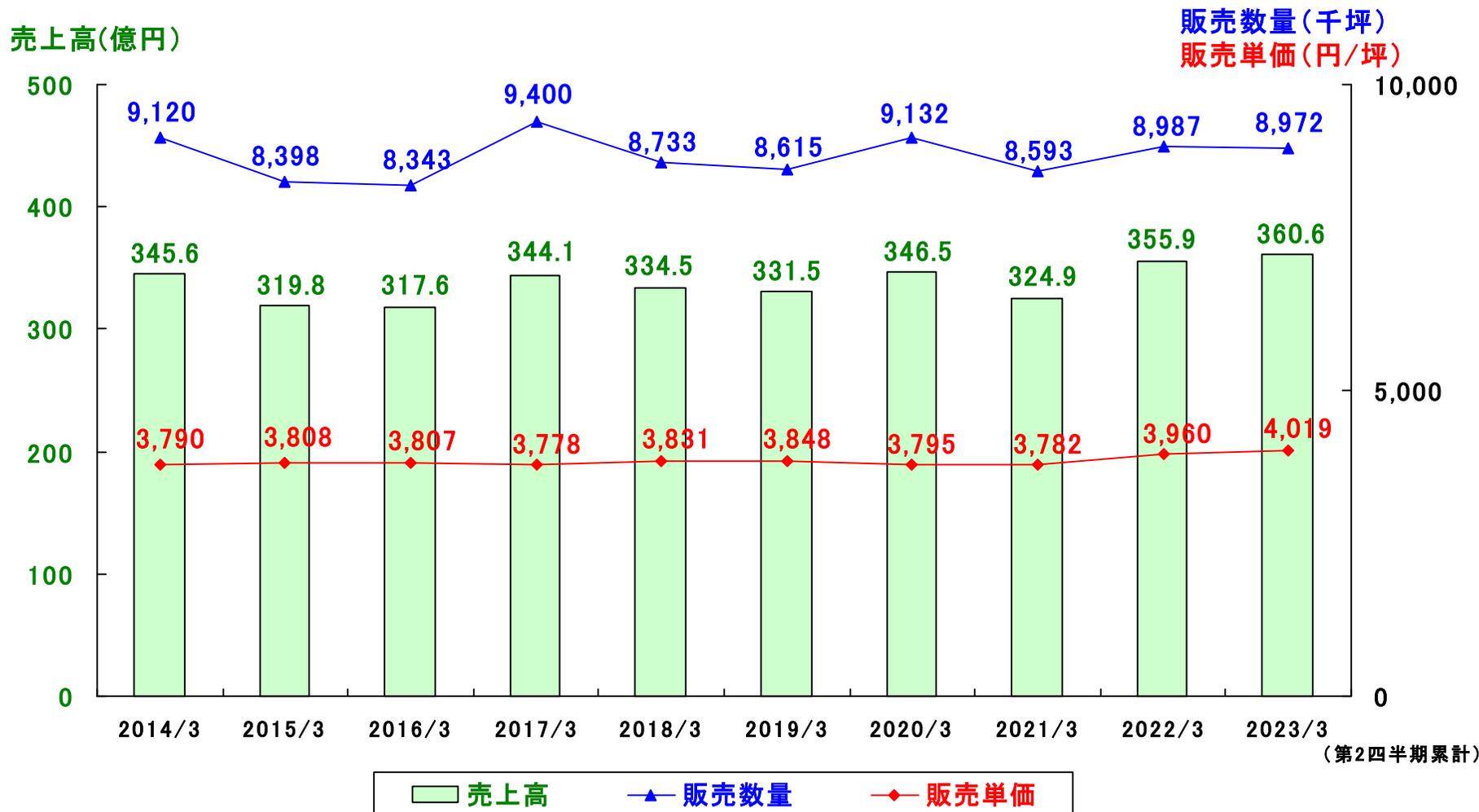
新市場の売上高推移(半期毎)



■ 新市場売上高 ◆ 連結売上高構成比

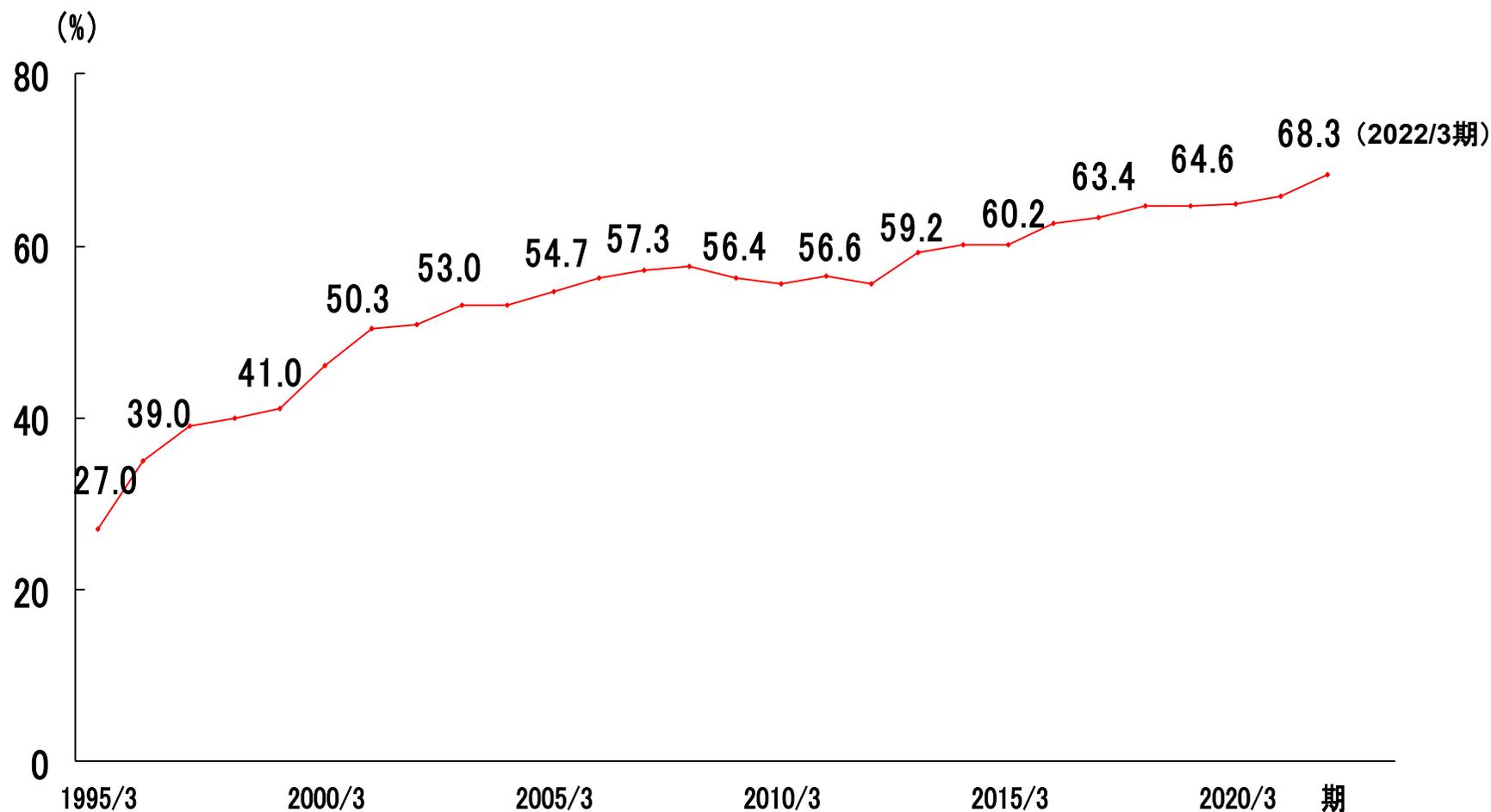
(注) 売上高は、海外市場、非住宅市場、耐力壁の合計

(二チハ)第2四半期累計 窯業系サイディング販売実績推移



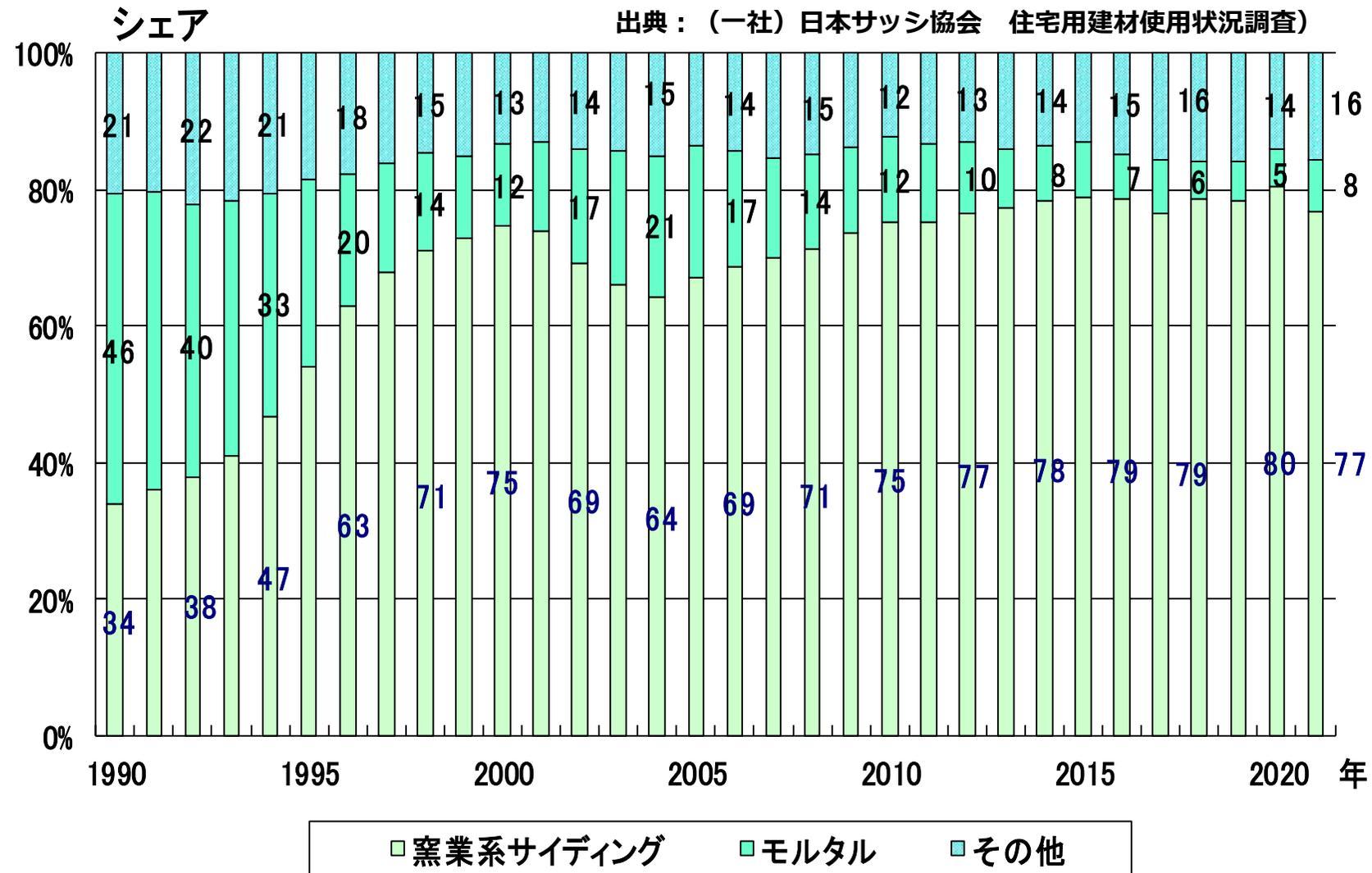
(注) NYG(日本窯業外装材協会)統計対象外製品を含む。

(ニチハ)窯業系サイディング 高級品(16mm以上厚)売上高構成比率推移



(注) NYG(日本窯業外装材協会)統計対象外製品を含む

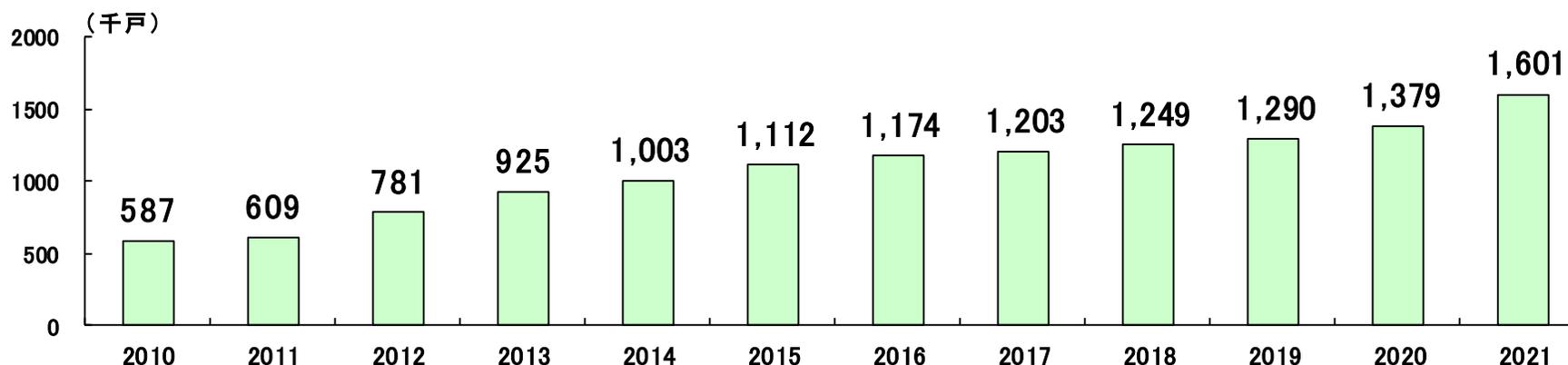
一戸建住宅における 窯業系サイディングシェア推移(国内)



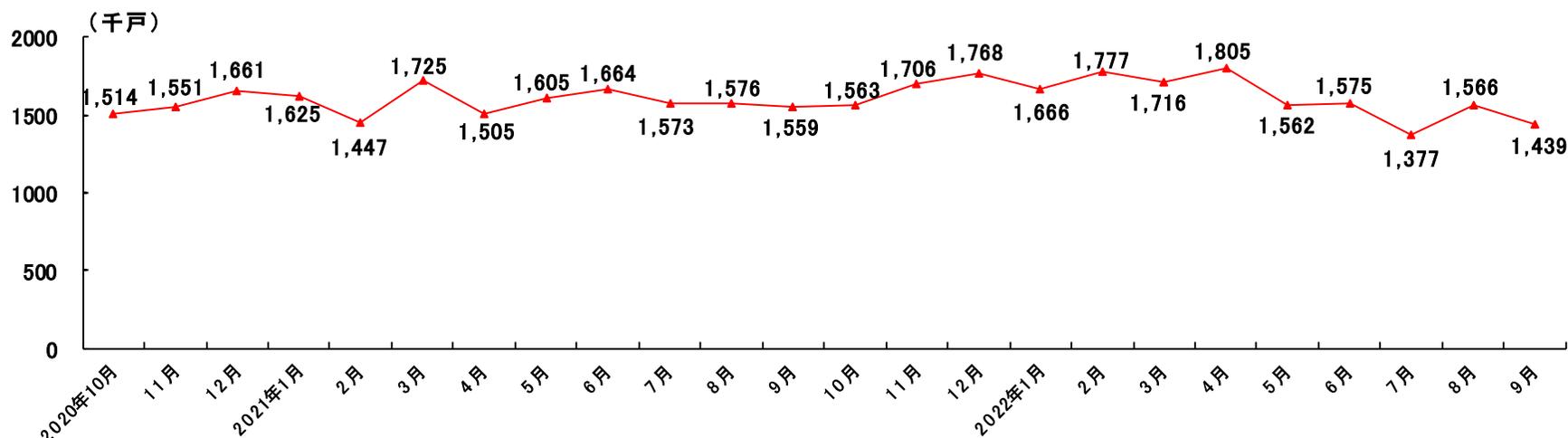
米国 住宅着工件数

(出所 米商務省)

● 2010年～2021年 年間着工件数の推移



● 2022年 9月以前(過去24ヵ月) 季節調整済年率換算後の月間着工件数の推移



お断り事項

本資料は、2023年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。

それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。